

外国為替論

有馬 敏則

科目番号	配当学期	単位	クラス	研究室
1010	通年	4	000	5号館 05-02 号室

学修テーマ

外国為替の意義の理解と外国為替・国際通貨制度の果たす役割を理解する。

学修概要

新聞やTVのニュース、そしてインターネットのマーケット情報等で、為替レートの動向は時々刻々伝えられています。それだけ為替レートの動向は我々の生活や国民経済活動と密接に関連するわけですが、なかでも近年は金融のグローバル化や金融商品の発達に伴い、一国の経済環境の変化や国際情勢の変化を察知した投資家による国際的な投資活動(カネの取引)がその主要な変動要因として注目されています。

この講義では為替の原理・仕組みから始めて、為替レートの変動が一国のマクロ・ミクロ経済に及ぼす影響等を検討し、次いで最近の為替レートの決定・変動に関する理論について考察し、また最近の国際金融問題を参考にしながら、国際通貨・為替制度がどのような問題点を抱えているのかをも併せて考える基盤を作りたいと思います。

到達目標

経済の実態を映し出すマーケットの動向を観察できる目を養うことができるように、また最近の国際金融問題を参考にしながら、国際通貨・為替制度がどのような問題点を抱えているのかをも併せて考える基盤を作り、併せて外国為替・国際金融に係る国際マーケットの動向を通じて世界経済の様子を把握できるようになる。

テーマ・課題

テーマ	課題
1 外国為替のしくみ	国際間決済あるいは資金移動の手段としての外国為替の仕組みについて述べなさい。
2 外国為替	外国為替とは何か、またその特徴は何処にあるのか述べなさい。
3 荷為替信用状	荷為替信用状取引の仕組みについて説明し、その基本的な機能がどのような点に求められるか、述べなさい。
4 為替相場の表示	為替相場とその表示方法について説明しなさい。
5 直物相場と先物相場	直物相場と先物相場について述べなさい。
6 直先スプレッド	直先スプレッドとは何か、また先物相場の特性とはどのようなところに求められるか、述べなさい。
7 外国為替市場	外国為替市場とは何か説明しなさい。
8 為替市場と中央銀行	為替市場に中央銀行が介入するのには、どのような理由があるか、述べなさい。

9 為替リスク	為替リスクとは何か。また為替リスクのヘッジの手段と方法について述べなさい。
10 デリバティブ	デリバティブとは何か、どのような方法があるか、それぞれの特徴を述べなさい。
11 為替リスク対策	総合的な為替リスク対策にはどのようなものがあるか、述べなさい。
12 国際収支表	国際収支(表)とは何か説明しなさい。また経常収支戻と資本収支戻との間にどのような関係があるか、述べなさい。
13 国際収支発展段階説	国際収支発展段階説について説明しなさい。また我が国はそのうちのどの段階にあるといえるか述べなさい。
14 為替相場の国際収支調整機能	為替相場の国際収支調整機能とは何か説明しなさい。
15 為替相場の変化と貿易収支調整効果	為替相場の変化が貿易収支調整効果を発揮するための条件について述べなさい。
16 ISバランス	経常収支と貯蓄・投資のバランス(IS バランス)について説明しなさい。
17 国際資本移動の形態	国際資本移動にはどのような形態があるか。またそれらが為替相場にどの程度影響を及ぼしているといえるのか、述べなさい。
18 購買力平価	購買力平価説について説明しなさい。またそれが長期均衡レートと見なされるのは何故か、説明しなさい。
19 フロー・アプローチとアセット・アプローチ	フロー・アプローチとアセット・アプローチについて、理論としての特徴を要約的に述べなさい。
20 国際通貨制度	国際通貨制度とは何か。その特徴について歴史的経緯を含めて述べなさい。
21 国際通貨の役割	貨幣の役割について述べ、またそれをもとにして国際通貨とは何か述べなさい。
22 固定相場制と変動相場制	固定相場制が崩壊し、変動相場制が認知されたのは何故か、説明しなさい。
23 EUと通貨統合	EU を例として通貨統合がなぜ必要とされるのか、また通貨統合が難しいとされた理由(背景)について述べなさい。
24 現在の国際通貨システムの問題点	現在の国際通貨制度にはどのような問題点があるといえるのか、述べなさい。
25 国際金融システムの不安定化	国際金融システムが不安定化してきた背景にはどのようなことが挙げられるか、また安定確保のためには何が必要か。
26 円の国際化	円の国際化とは何か、また何が我が国にとって必要と言えるか、述べなさい。

使用テキスト

著者	書籍名	発行所
秦忠雄・本田敬吉・西村陽造	国際金融のしくみ	有斐閣

参考文献

教科書（テキスト）に掲げられている、それぞれの章に該当する文献を参考にしましょう。
また各自が、自分にとって判り易いものであれば、それを活用するのも良いと思われます。

レポート課題

書式：横書 ワープロ：可

第1課題

固定相場制と変動相場制についてそれぞれの特色を述べなさい。またIMF体制において何故に固定相場制から変動相場制へと移行したのか、その背景について考察しなさい。

第2課題

戦後の国際通貨制度の発展の経緯について述べなさい。また現在の国際通貨制度にはどのような問題点があり、どのような改革案があるのか、述べなさい。

レポート作成にあたっての注意

第1回課題では、外国為替相場について正確に定義をしておきましょう。そのうえで固定相場制と変動相場制についてまず基本的で理論的な勉強をして、それぞれの特色(例えば利点や不利点)について考えてみましょう。それに基づきながら、第2次世界大戦後の国際通貨制度として何故にIMF体制において固定相場制が採られたのか、そしてどのような理由から固定相場制から変動相場制へと移行していったのか、その過程の説明を国際通貨制度の歴史的な変遷を、時代背景を加味しながら色々な側面から考察を試みましょう。そして何故に今日では各国通貨当局による経済政策の協調を図りながら為替の安定化を目指す必要があるといえるのかも、併せて考察をしてみましょう。

第2回課題では、現行の国際通貨制度について確認しておきましょう。2008年秋にリーマン・ブラザーズが事実上経営破綻をしたことを発端にして世界中に金融不安が広まったことを受けて、欧州連合の首脳会議が金融危機への対応を確認する一方で、国際通貨・金融の面で現行の国際通貨制度(IMF)の役割を見直し、新たな国際的標準(新ブレトンウッズ体制)を構築すべきとの動きも出てきました。世界貿易の発展と決済の円滑化を目的として構築された国際通貨制度について、その構築された背景については国際貿易論で学習していますが、それをもとにして、国際通貨制度が構築され今日まで発展してきた様子をまとめ、またそこに垣間見えてきた国際通貨に係る問題点を考察し整理するのが、このレポート課題の目的です。最近の国際通貨問題を参考にしながら、国際通貨・為替制度がどのような問題点を抱えているのか、それはどのようなところに起因するといえるのか、まとめてみましょう。

レポートの評価基準

レポート作成にあたっての注意をよく読んで、課題が求めている点を十分に展開してみてください。課題の求めている点が十分に理解されていなかったり展開が十分でなかった場合、その程度に応じて不可となります。

単位修得試験について

持込：不可 筆記用具：自由

「テーマ」と「課題」に書かれていることを、自分の表現でまとめ、説明できるようにしておいてください。

「〇〇とは何か」といった定義が必要な場合はまず、そこから始めてください。そしてその内容や意味を、自分なりの解釈として表現して、課題の求めている点について論述・説明をしてみてください。

オフィスアワー

機関紙 5 月号に掲載します。